宝武との友好協力40周年

新日鉄住金と中国最大手の製鉄会社である中国宝武鋼鉄集団有限公司（宝武）は2017年11月4日、上海市で友好協力40周年を記念した式典を開催しました。

旧新日本製鉄と旧宝山鋼鉄集団は、1977年11月に稲山嘉寛会長が訪中した際に李先念副主席（当時）から建設協力要請を受け、78年に鄧小平副総理（当時）が君津製鉄所を視察されたことをきっかけに、宝山製鉄所の建設、研修生の受け入れや現地への技術者派遣などを行ってきました。

友好協力40周年を機にパートナーシップをさらに強化していきます。

左から謝企華元董事長、陳徳栄総経理、馬国強董事長、宗岡正二会長、進藤孝生社長、三村明夫名誉会長

重要文化財の善光寺経蔵にチタン箔シートが初採用

新日鉄住金と日鉄住金防蝕（株）は、ライフサイクルコストの低減、社会インフラ長寿命化の観点から、素材の特性を活かした構造物へのチタン適用拡大を推進しています。このたび、善光寺経蔵の耐震補強工事でチタン箔シートが補強材の接合に使用されました。これは重要文化財に採用された初めての事例となります。

チタン箔シートは、積層する数により強度設計が容易であり古材に対する接合後の不具合を極力少なくでき、かつ、結露しにくく耐久性があるため、このたび文化庁に採用が認められました。

新日鉄住金と日鉄住金防蝕は、今後もチタン活用によるメリットを活かして構造物の耐震性・安全性向上およびライフサイクルコストの改善などに貢献していきます。

左が経蔵

チタン箔の施工の様子

自社保育所で24時間保育を開始

大分製鉄所で交替勤務社員が保育所を利用することになったことから、2018年1月より新日鉄住金保育所で24時間保育を開始しました。

新日鉄住金は、少子高齢化が進むなかで、スタッフ職場、操業・整備職場を問わず、高齢者や女性など多様な人材が活躍できる職場環境を実現していく施策の一環として、交替職場で働く社員のニーズにも対応可能な自社保育所を、君津製鉄所、八幡製鉄所および大分製鉄所に開設しています。

新日鉄住金は、出産・育児期にある社員も含めた多様な人材が活き活きと働くことができる職場、活力ある企業を実現するべく、今後も就労支援施策の充実を図っていきます。

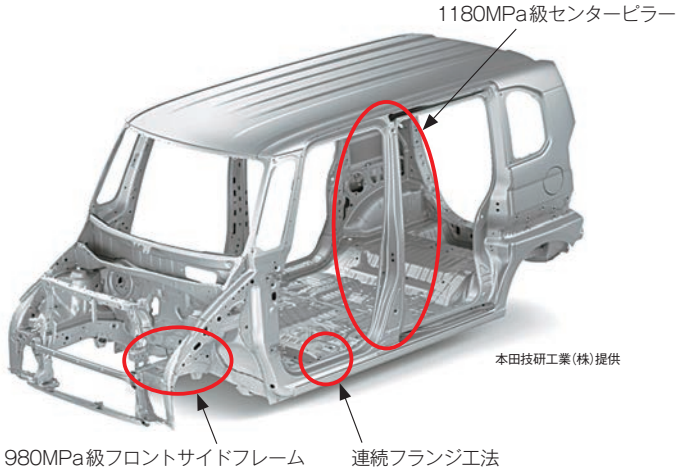
大分どんぐりのもり保育園

超ハイテン＆ソリューション技術がHonda新型N-BOXに採用

新日鉄住金の外板用1180MPa級冷延ハイテン、高穴広げ型980MPa級冷延ハイテン、連続フランジ工法などの超ハイテン(※1)およびソリューション技術が、本田技研工業(株)(Honda)の新型軽乗用車「N-BOX」に採用されました。これらはHondaの研究開発を担う、(株)本田技術研究所との連携のもと、ボディ部品に適用され、新型N-BOXの軽量化・高剛性化に寄与しています。

センターピラー外板部品に1180MPa級冷延ハイテン、骨格部品(フロントサイドフレーム)に穴広げ性(※2)を改善した高穴広げ型980MPa級冷延ハイテン、クロスメンバーに独自開発した切欠き形状がない連続したフランジを成形可能な「連続フランジ工法」を適用しました。

新日鉄住金はN-BOX向け超ハイテン部品の開発から量産化・安定供給まで一貫して対応してきました。今後も車の軽量化、価値向上に向け、超ハイテンやソリューション技術の開発、適用を幅広く進めていきます。



本田技研工業(株)提供

(※1) ハイテン：High Tensile Strength Steel(高張力鋼板)の略称。引張り強さが980MPa以上ある鋼板を超ハイテンという。
(※2) 穴広げ性：鋼板の伸びフランジ成形性を表す指標。穴広げ性が高いほど、変形時に破れにくく衝撃吸収性が高い。

第7回「ものづくり日本大賞」特別賞を受賞

新日鉄住金は、第7回「ものづくり日本大賞」において、「永久磁石式小型軽量リターダの開発」で特別賞を受賞しました。

「ものづくり日本大賞」は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させていくため、経済産業省、文部科学省、厚生労働省および国土交通省の4省連携により、2005年8月に創設され、今回で7回目を迎えます。

受賞した永久磁石式小型軽量リターダは、永久磁石の磁力を鋼製ロータへ非接触で作用させ、制動力を発揮します。新日鉄住金は、小型軽量で搭載性、メンテナンス性に優れる永久磁石式の補助ブレーキ装置(リターダ)の実機化以降、車重規制緩和、燃費改善、排気ガス規制、ドライバーの疲労軽減などの新たな社会的要請に対応すべく、より高い制動性を発揮し、さらなる小型軽量で、ドライバーに優しい性能を持つリターダを開発してきました。大型車主体に広く普及することにより、商用車の安全・安心の確保に大きく貢献しています。

表彰式

第28回 新日鉄住金音楽賞の受賞者決定

第28回新日鉄住金音楽賞のフレッシュアーティスト賞に、ハープの景山梨乃さんが選ばれ、2018年2月19日に贈呈式が行われました。受賞記念コンサートは7月17日に東京都千代田区の紀尾井ホールで開催される予定です。

新日鉄住金はこれからも日本の音楽文化の発展と、将来を期待される音楽家の方々の一層の活躍を支援していきます。

© N. Ikegami
フレッシュアーティスト賞
景山梨乃さん(ハープ)

『季刊 新日鉄住金』バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。
http://www.nssmc.com/company/publications/quarterly-nssmc/index.html
なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスより申し込みください。